

市役所庁舎建設に関する調査特別委員会報告書

平成28年9月16日

備前市議会議長 鵜 川 晃 匠 殿

委員長 田 原 隆 雄

平成28年9月16日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	備 考
現庁舎建てかえに関する調査研究	継続審査	—

市役所庁舎建設に関する調査特別委員会記録

招集日時	平成28年9月16日（金）		本会議散会后 予算決算審査委員会閉会后	
開議・閉議	午後2時15分	開会 ～	午後3時37分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	第6回定例会期中の開催		
出席委員	委員長	田原隆雄	副委員長	石原和人
	委員	山本恒道		尾川直行
		橋本逸夫		田口健作
		津島 誠		掛谷 繁
		守井秀龍		川崎輝通
		立川 茂		西上徳一
		山本 成		森本洋子
		星野和也		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	鶴川晃匠		
	参考人	なし		
説明員	総合政策部長	佐藤行弘	庁舎移転担当官	尾野田瑞穂
	庁舎移転担当官	平田惣己治		
傍聴者	報道関係	山陽新聞	読売新聞	
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午後2時15分 開会

○田原委員長 お疲れのところ御苦労さまです。

出席者は全員であります。定足数に達しておりますので、ただいまから市役所庁舎建設に関する調査特別委員会を開会します。

まず、執行部から資料が出ていますので、資料説明から入りたいと思います。

資料説明をお願いします。

○尾野田庁舎移転担当官 お配りしています資料について説明させていただきます。

A4版の資料、まず新庁舎のコンセプトについて記載しています。

基本理念として、つながりの備前ということで、市民と我が町に誇りを持ち、市民一人一人がまちづくりに参画し、ひとつの備前となるような市役所を目指しますということで掲げています。

コンセプトですが、備前らしさが感じられる市役所。

備前市固有の歴史、文化、産業などに配慮しながら、周辺景観との調和を図ります。また、市民が郷土に対する愛着を深め、誇りが持てるまちづくりとなる備前らしさが感じられる市役所を目指します。

2番目として、ワンストップサービスの行き届いた市役所。

分散している窓口を集約することにより、市民の利便性の向上を図るとともに、全ての利用者にとってワンストップサービスの行き届いた市役所を目指します。

3番目として、市民に開かれた交流拠点となる市役所。

市民協働によるまちづくりを進めていくため、行政手続などの窓口利用のほか、多くの市民が気軽に立ち寄り、さまざまな情報の受発信や市民交流が図れるような市民に開かれた交流拠点となる市役所を目指します。

4番目として、市民の生命・安全と財産を守る市役所。

高い耐震性を有し、災害時の対策本部機能を備えた防災拠点機能を強化するとともに、徹底した情報管理のもと、万全なセキュリティー機能を備え、災害に強く、市民の安心・安全を守る市役所を目指します。

5番目として、人や環境に優しい市役所。

全ての人にとって利用しやすいユニバーサルデザインを取り入れるとともに、再生可能エネルギーを取り入れ、環境負荷の低減に配慮した、人や環境に優しい市役所を目指します。

6番目として、機能的かつ将来の変化にも対応できる市役所。

ICTやOAフロアによる効率的で機能的かつ将来の情勢変化にフレキシブルに対応できる多機能オフィスを目指します。

以上のコンセプトにより、新庁舎の建設を進めてまいりたいと考えています。

続きまして、2枚目の配置図をごらんください。

ここに、現庁舎と新庁舎の位置の関係をあらわしたものを示しています。赤が新しい庁舎が、こういうイメージというものです。

この進め方ですが、まず①の本庁舎の旧館です。ここを取り壊すような形になります。ここの解体、取り壊しができたら、②新庁舎の西棟を建設します。新庁舎が完成したら、今外にある仮庁舎にいる部署を引っ越しして、次に④保健センターと車庫、物置を取り壊すような形になります。取り壊した後に、ここに新庁舎の東棟を建設するという順番になります。新庁舎の東棟は、完成したら、引っ越しを行い、⑦本庁舎の新館、それから裏の分庁舎、それから福祉事務所の建物を取り壊すという順番になります。全ての建物の取り壊しが完了したら、あと駐車場整備等の周辺整備工事を行うように考えています。工事の期間は約2年を予定しています。

以上が新庁舎を進めるに当たっての順番を、今検討しているのがこの状況です。

続きまして、3枚目以降が平面図です。平面図は7枚あります。前回のこの委員会で皆様から頂戴した意見を参考にして、今回作成しました。

前回は、1階に議場を配置していましたが、皆様の議場が1階というのはどうかという意見がありましたので、今回は1階の部分については、ワンストップサービスの行き届いた市役所ということで、1階には市民窓口課、税務課、福祉事務所など、窓口業務のある部署を集約して配置しています。

1枚おはぐりください。2階でございます。

2階には、市民生活部と教育委員会、保健課、保健センターを配置しています。あと上下水道課のお客様センターを配置しています。

次に、3階ですが、3階はまちづくり部が主なもので、あとは会議室を配置するようにしています。また、東棟には、多目的ホールを設置し、市民が気軽に立ち寄って市民交流ができるようなものをここにできたらと考えています。

1枚おはぐりください。

4階は、市長室と会議室、書庫、倉庫、食堂を考えています。

次、5階は、総合政策部と監査事務局を考えています。あと会議室の配置を考えています。

1枚おはぐりください。

次、6階は、議場を含む議会関係の部屋を集約して6階に全て持ってきています。

最後、屋上になりますが、環境に優しい市役所となるよう、ソーラーパネルを配置し、環境負荷の低減を図っていくことを考えています。

以上が今回提案させていただいている庁舎の案でございます。

○田原委員長 執行部から資料の説明がありました。

委員の皆さんからの質疑をお受けします。

○橋本委員 本定例会で基本設計あるいは実施設計ということで、慌ただしくいろいろな予算計上がなされているので、我々の庁舎問題特別委員会もいろいろと対応して取り決めをしていかな

ければと思っています。その中で、きょうお示しのこの案だが、これ全部で床面積が幾らになるか。1階から6階まで、オープンテラスは除いて。

○尾野田庁舎移転担当官 全てで7,280平米。

○橋本委員 現行のこの本庁舎、床面積は幾らですか。

○尾野田庁舎移転担当官 旧館が1,591平米です。新館、ここの建物が2,709平米です。裏の分庁舎が756平米。福祉事務所が155平米。保健センターが800平米。合わせて6,011平米です。

○橋本委員 今度は、それに教育委員会と坂根の上下水道課がくっついてくると思うが、教育委員会は、床面積は幾らか。

○尾野田庁舎移転担当官 片上分庁舎になりますが、453平米。坂根の分庁舎については、948平米です。

○橋本委員 先ほどの6,011平米にこの教育委員会の453と上下水道課の948を足せば、幾らになるか。

○尾野田庁舎移転担当官 7,412平米です。

○橋本委員 今、私が申し上げた以外に、この部署も今度の新しい新築案には入ってくるということがあるか。例えば、どこそこの施設がここに入ってくるというような。

○尾野田庁舎移転担当官 今は、そのほかの部署は考えていません。水道と教育委員会です。

○橋本委員 ここからは私の感想ですが、現在あちこちに分かれて延べ床面積が7,412平米、今度一つに統合するとなると、物すごく効率的になるわけです。1階から6階までということで、物すごく効率的になって、それが7,280平米といえば、はっきり申し上げます、大き過ぎると思う。これから職員数もふえるんだ、どこかの部署がふえるというのであれば、7,280平米あってもいいが、この床面積がふえればふえるほど建築費も高くなる、それから維持管理費も高くなる。できることなら、もうこれから基本設計に移ろうとするのであれば、もっともこの現設計をコンパクトにさせていただきたいと思うが、執行部にはその考え方がないのか、あるいはほかの委員の皆さんがどうなのか、ちょっと委員長、いろいろと審議してもらってください。私は、そう思います。

○田原委員長 今、橋本委員の提案で、単に旧施設をトータルした面積との比較ではなく、適切な面積という考えはないのかという提案ですが、執行部どうですか。

〔「委員長、その前に」と守井委員発言する〕

休憩します。

午後2時30分 休憩

午後2時31分 再開

○田原委員長 再開します。

○川崎委員 議場が上へ行くって、議会事務局が、それはそれで常識的な建て方だと思うが、仮

設等の関係だと思うが、なぜ6階と3階なのかなと、私はできればオール平面、オール4階にして、おさまるのであれば、それぐらいがいいのかなあと。高くすれば下のほうは、何か耐震上、柱が太くなるのか、強度が強くなるのか、建設単価が高くなるということと、やはりせっかく新庁舎を建てて余り段差があるというのを聞かないです、どこを見ても。やはり同じ高さでよりその階でいろんなことを済ますと。この課については、5階、6階へ上がらなければならないというのは、市民にとっては少し負担ではないかなと。オール4階で全部おさまるなら、そういう方向がいいし、おさまらないのであればちょっと天井は高くなるかどうかわかりませんが、大会議室なり議場を5階の一部に、屋上のところを何かして高くするとかということ、段差がある建物というのは、今後の災害とかいろんなことを考えると、問題があるということがあります。

それと、平面であれば、より多く、もし災害があれば、市民に屋上を開放して臨時避難場所としても使いやすいということも考えられるし、太陽光をつけるのであれば、太陽光を少し、高くして、下は仮の雨風を防げるような屋上にしていだければ、もっといいかなあとということも考えています。なぜ6階と3階になるのか、その辺についての技術的なものか、単価か知りませんが、説明をお願いしたい。

○尾野田庁舎移転担当官 最初に考えていたのが、6階だけで全部入れないかなというふうに考えていましたが、それだけではちょっと面積的に足りないということで、今1階と2階が執務室、東棟の3階は会議室を主に、多目的ホールということで、市民の皆さんが市役所に来ていただけるような、そういった場所を今考えています。そういうこともあり、主に考えているのですが、6階のほうが市役所の職員が執務する棟、東棟はなるべく市民の方が使えるような、市役所に来ていろんな会議とかイベントとかできるようなものをできたらと、そう考えており、こういう形で今回は提案させていただいています。

オール4階ということですが、今後予算が通りましたら、業者へ発注していきますが、その辺も検討していければいいかと、そういうふうには考えています。

○川崎委員 私、ちょっと見たらオーバーだと思うが、5、6階分をオール4階にすれば、相当詰められるのではないかなと。それと、今の設計では、相当会議室ということで、あったらプライバシーは守れる、市民相談の部屋として使えるので、それはいいことですが、やはりこういう時世だから、できるだけ安くてコンパクトな本庁舎を建てるべきではないか。特にきょうの本会議でも総合支所が耐震化かどうか知りませんが、建てかえるのか、耐震化するのか、ちょっとよくわからないが、今回解体設計料という形で出ているので、その辺は別の委員会での論議となると思いますが、何せ上下がないほうが、市民が使いやすいと、訪問しやすいと同時に、どっちにしる1、2階は全ての、東棟も西棟も全部市民のためのところではないですか。何もこの6階のほうだけが市の職員がおって、東棟だけが市民が出入りするのではなく、全て1、2階、そういう雰囲気なので、別に3階と6階ではなく、オール4階ぐらいでおさまるならおさめていただいて、どうしてもおさまらないのなら、議会棟ぐらいは5階の一部にちょろっとつくるぐらいで

済むということもあり、そういうことで単価的にも安くなるならそういう方向でのもう一度基本設計をやり直していただきたいということを要望します。

○橋本委員 それに関連して、1階の平面図、これ1階だけで床面積は何平米ですか。

今、川崎案は、これを4階建てにしたら、これに単純に4掛けたらいいわけで、1階の床面積は。

○尾野田庁舎移転担当官 1, 470平米です。

○橋本委員 川崎案で4倍したら、5, 889平米ですね、単純にこれを4階建てにすると、これぐらいの平米があればちょうどいいと思う、私はね。

○掛谷委員 やはりコンパクトにという、無駄のないという意味では、今回ちょっと4階に食堂やオープンテラスがありますね。これは、どういう意味合いで今回入った、市民が来てここで食事をするとか、オープンテラスということは、ここは何もない、オープンでしょ。バルコニーとどうか。

要は、活用をやはりしっかりすることをしないと、ただつくったと、これから先のことはわからないでも、これがいいだろうと思っても、やはり本当にその根拠になるようなものが必要だと思う。食堂というのは、誰の食堂ということで考えているの。一般市民なのか、職員なのか。一般市民もいいと。この辺は、どういう意図で、一般市民にというわけにはなかなかいかないでしょう、ここは。

○尾野田庁舎移転担当官 今思っているのは、職員のためということ。

〔「でしょう」と掛谷委員発言する〕

はい。

○掛谷委員 だから、職員のための厚生施設みたいだが、今までは自分ところで食べている。本当に要るのか。厚生施設としてグレードが上がるという感じはあるが、何かこれ本当に必要なか、ちょっと思います。

3階の多目的ホールは、これは大会議室だったわけですね、前は。そこら含めてもうちょっと教えてください。そこが要らなくなるかもわからない。大会議室は、要ると思う。

○尾野田庁舎移転担当官 今の会議室が非常に足りないというような状況ではあります。今回、この案で会議室をかなり多くするような形にはしています。多目的ホールという名前にしていますが、大会議室でも活用できます。あと市民がここで何かイベントとか、会議とか、何かいろんなことができたらということで、いろんなことができるような形で広目の大きい会議室、会議室も含めてそういうものを、施設ができたらいというふうに考えています。

○掛谷委員 それを、私はまだいいですが、この4階の食堂、オープンテラスというのが、皆さんどう思われるのか。私もちょっと半分疑問に思うが。必要であれば、それはいいのかもしれない。

○田口委員 食堂に要らないというような意見もあるんですけど。

〔「いやいや、要るか要らないかはわからない」と掛谷委員発言する〕

職員が食事しているところへ市民の皆さんが行くというのは、非常に行きづらいわけです。だからそういうところは、もう必ずこれからの時代、もう平成から次の時代が変わろうとしているわけだから、もう要るわけです。だから、私はあっていいと思います。

それより、さっきからワンストップ、市民市民という言葉が出るが、例えば今税務課の前に長椅子を置いてあちこち座っているいろいろ相談を受けているわけです。本当は、見られたくないでしょう、あの人たちみんな。そういう人たちに対する配慮というのは、全然ない。どこかあるのか。これ会議室が税務課の前に2つあるが、これ1つずつ使っても、2人しか入れないわけです。そういう意識ゼロでしょう、全く意識していないでしょう、あの人たちのことを。そういうところに配慮するのが、市民に優しい市役所になるわけですよ。きょうも何人かおられました。いつ行ってもおられる。ここ備前の人が多いから、私全然顔知らないから、まだいいですが。もう知っている人が見たら、それは見られたくないと思います。反対に、私はその相談に来ておね、もうそういうこと考えましたか。

○尾野田庁舎移転担当官 そういう意見があるので、今回も税務課の前へ会議室を2つ考えさせていただいていますし、あと福祉事務所にも相談室ということで3つ、計画させていただいています。そういう相談できる小さな部屋、そういうものも考えていきたいということで、今回はこういう配置になっていますが、その辺は考慮していきたいというふうに思います。

○田口委員 一番上に議会棟があるが、例えば会派室とって、これ1部屋ですよ。一つの会派しか入れないわけです。もう次の時代をやはり本当に思うなら、例えばここを2人ずつ、8つの会派というわけにはいかないが、それなりの部屋を、やはり用意していただく、それと同時に、正副議長室があるではないですか。もう最近こういうところは珍しいですよ。議長室があり副議長室があるわけです。よく覚えておいてください。市長、副市長室になっていないでしょう。市長室があり副市長室があるでしょう。それと一緒に。議長室があれば副議長室がある。それと会派、その辺も考えて、私はしていただきたいです、これから。もう私らのいる時代にこれが新築になるとかということは、思っていないですけど。その辺どうですか。

○尾野田庁舎移転担当官 その辺も参考にさせていただき、今後検討したいと思います。

○田口委員 橋本議員も言われたが、これからどんどん減っていくのに、人口も減る、職員も減る、そのキャパが大きければ、また要らない臨時職を頼んだり、いろいろなことをあなた方は思うわけです。ちょうどこれ新築が建ったころには、いるかいけないかという世代だが、できるだけやはり小さくして、コンパクトな市役所にして維持管理費もかからない、ワンストップで行ける、そういうのがやはりもともとの基本的な考え方において、やはり私はしてほしいと思う。あとは知らないけど、わしら出ていくからというて、部長、そういうことを思わないと、やはり考えてください。平田担当官もそうですけど。ぜひ、要望しておきます。

○川崎委員 それを応援する意味ではないが、完成時にはきょうの議論でも合併時より1割ぐらい正職員が減っているということだから、2020年3月といえば、あと3年半ですか、人口減は、減らないほうがいいが、減る中で職員も減らすということであれば、私は完成したとしても、上下水道なり教育委員会は当面そこにいて、こちらが定員が減って部屋割りが可能になれば移るといような、そういう柔軟な考え方もあるし、実際にこれやっても旧館を潰したらどこに移るかということをはっきりしないと、この基本設計がこれでいいのかどうかということが、私判断できないのではないと思う。一貫して、この旧館の人たちがどこへ行くのかということをはっきりさせてから、基本設計を本気で論議していただければと思うが、その辺はどうでしょうか。総合支所がいいのか、教育委員会へ行った方がいいのか、上下水道の800平米もあるなら、まだ相当、東備水道議会、日生でいえば日生町議会の部屋、吉永町議会の部屋。

いや、だから、そういうところを含めて、どこへ変わるのか、もう変わらずにできるというふうに考えているのか。市長は、きょうも一番この辺の市民が便利なアルファビゼンがいいと言っているが、なかなかそれは私含めて過半数の人は反対のような空気だから、そこははっきりさせてから次へ行きたいと思うが、いかがでしょうか。

○尾野田庁舎移転担当官 仮庁舎については、今、この残った庁舎の中で配置できないかということ、今やりくりを考えています。その中でどうしてもだめなものをちょっとピックアップしていく形になるかなと思うが、まだちょっとそこまでは煮詰まっていないので、ちょっと今回はお示しできません。

○川崎委員 3階までほとんどぼっちり今旧館詰まっていますよね。どこもあいてないでしょう。北側の2階の何か市長室の前があいているのか、会議室ぐらいで。もうそういう状況の中で、新館とかどこかに、この地域では押し込むというのは無理があるのではないかな。やはり教育委員会なり、上下水道がいいのか、日生総合支所がいいのか、やはりそれをはっきりさせて、どれだけの課がそちらに移るのか、それとも課でもう半分だけ移るとか、移っていただいたほうが日生にとっても吉永にとっても便利がいいわけです。今もう5人や10人しかなくて、あっ、それはうちではだめです、すぐ本庁へ行ってくださいというのが、各課分散して、2人ずつでも分散して移動させていただいたら、ああその件はここで受けられますという便利さがあるのなら、移動することによって、吉永、日生の地域の市民の方は便利になったなあと、建てかえ中だけでもという実感も湧いてくると思うが、はっきりさせるべきではないでしょうか。時期がいつか知りませんが、やはりそれぐらいは簡単に引っ越し先ぐらいは、より明確に決定できると私は思う。いかがですか。

○尾野田庁舎移転担当官 今、分庁舎の3階があいています。こちらのほうへ、市長室とかそういった部署を考えています。あと文化スポーツ課とかがありますが、こちらをちょっと教育委員会のほうに行けたらなど。そこがあきますので、あいたところに財政課とか契約管財課とか、そういうのを入れていきたいというふうに考えています。

一番スペースをとっているのが、1階の税務課が一番スペースをとっていると思います。これが2階に、市民がよく来られる部署なので、できれば1階がいいが、スペースがもうちょっとないので、2階に行けたらと思っています。そうすると、今おります環境課とか、まち営業課、その辺が押し出されるような形にはなると思うが、その辺の部署をどうするかということで、ちょっと今検討しているところで、その案ができるまで、もうちょっと待っていただけたらと思います。

○川崎委員 今月中ぐらいでできますか。できると思いますが、人数割を、スペースで計算すれば、机を置くだけの話でしょ、既存施設に移動するのであれば。

○尾野田庁舎移転担当官 なるべくもう早目にしたいので、その辺で急いでしたいと思います。

○田口委員 つけ加えますが、幾ら大変でもアルファビゼンへ仮庁舎を持っていくという予算は、通らないからな。もうそれはないと、やはり市長と共有してほしい、その話を。もうあくまでアルファビゼンアルファビゼン何か言わりょうりますがど、それはないわけだから。それで、詰め込むと言っているが、例えば支所がだめなら、坂根へ行ったら結構あいているではないですか。あそこへ市長室でも持っていけばみんな喜ぶじゃないですか、職員も。うれしそうな顔している。もうあそこへ、あの部屋が市長室になったら、もう最高ですよ、そりゃあ。そういうこともちゃんと提案してください、市長に。せつかくあいているし、いい建物ですから。

○尾川委員 まず、基本構想があって、コンセプトがあるが、これをきちんと説明できるように、ただスローガンで選んで説明だけではなく、どういうところに、これから設計するわけだが、市としてどういうことを一番狙いにしている、ここへ書いているから狙いはわかるが、具体的に何を狙いにしているのかを明確にして、説明できるようにしておいてください。

もう一つは、議会のことだけについて言うと、あくまでも何か6階が議会の階というイメージを持っているが、いろいろ今意見が出たが、それ以外の図書室という問題もあったりするわけ。それも使い方は、議会だけで使うのではなく、市民が入って調べられるとか、そういう使い方もあるわけ。あるいは、市立の図書館へそういう管理をするとか、いろんな考え方があるが、要するに6階だけが議会ですということを言わずに、もっと流動的に頭をやらかくして、それでも使い便利が悪くて部署が変わったりしたらあれかもわからないが、余り階ごとに考え過ぎずに、各部というか、あと3階とか2階とかあるが、そういうのも余りそういう前提で考えないほうが、もっと流動的に、広さはどうかというのがあと思う。それを言ようたらもう切りがないから、とにかくこのコンセプトについて、こういうところに特色があるということをきちんと訴えるようにしてもらいたい。

もう一つ、基本理念のつながりの備前、皆さん方が集まって決めたと思うが、その辺もいろいろ市民の意見を聞くのか、議会の意見を聞くのかというのはわからないが、その辺も一遍、まだ後からしたら基本理念が先行しないといけないのかもわからないけど。そのあたりちょっと考えてもらって、これから設計、まだ議会議決してないが、そういうことをひとつ入れながら、ちょ

っと視点が違うかもわからないが、余り階にこだわらずにしてもらいたいと思う、要望です。

○尾野田庁舎移転担当官 庁舎をつくるのに、やはり基本理念といいますか、コンセプトとかと
いうのがあって、それに基づいて庁舎をつくっていくような形になると思います。これは、プロ
ジェクトチームで考え、庁議に示して今回挙げさせてもらっていますが、やはりコンセプト、そ
れに基づいてどういう庁舎をするという考えになろうかと思っています。

○橋本委員 先ほどの川崎委員のいろいろな提言の中で、仮庁舎の問題、答弁をされていたけ
ど、分庁舎の3階であるとか、教育委員会の一部であるとか、そんなちまちましたことを考え
ずに、私は分庁舎と教育委員会、全部一旦どこかへ行ってもらって、そこへ窓口業務を重点的に
配置すれば、片上地区の人も多分文句はないはずで、近くに窓口業務がどっと来るわけだか
ら。税務課なら税務課をごそっと移すとか。教育委員会だって、それから分庁舎に今入っている
部署だって、これが遠くへ行ったからといって大して困るような部署ではないので、そう考える
こともできると思います。

もう一点は、とにかく新築案はもっとコンパクトに、床面積をもっと狭めてください。それ
で、どうしても無理が出るようならば、例えば上下水道課は、まだ当面確実にこっちへ引っ張っ
てこなくても、坂根にいい場所があるわけだから、あそこへいてもいいわけです。あそこへいた
からといって、今支障がありますか、何か。そんなに支障がないはずですよ。ですから、弾力的
に考えていただけたら、私はありがたいと思います。

○尾野田庁舎移転担当官 坂根の支所は耐震がありません。今回合併特例債ということで考えて
いるので、この合併特例債を使うのは、分散しているものを1カ所に集約するというで合併
特例債が借りられるので、ちょっとそのまま人数が減るまで残しておくというわけにはいかな
いので、その辺は御理解願いたいと思います。

○田口委員 いや、坂根は耐震ではないから、統合しなければならない、あそこ必ず誰かいない
といけないのでしょうか。何か建て直す予定があるのか。

○尾野田庁舎移転担当官 今、事務所があるところを出払うような形にして、今施設がある建物
があると思うが、そちらのほうは残して、そこにはやはり職員を配置するように、残しておか
ないと、施設があるので、その施設の運営は必要なので、そういうふうには考えています。

○山本（恒）委員 それは幹部ばかりで決めていると思うが、ここの人に文句言われてそれだけ
でするのではなく、やはり若い職員もおるし、ある程度職員にも聞いてしなければ、もうこれは
いけん、もう、自分らの思いだけで、上のほうの人で、下のほうの人は考え方が、若い人の考え
も、そこらも考えて総合的に聞いてしないと、ここだけおさまったからいいというようなもの
ではないと思う。少なくとも50年か60年使う、きっちりしたものをしないと、それと外へ出
た折に、聞きょうたら文句ばかり言われて、担当は困るんだったら、いろいろな意見を集めてい
いものにしたほうがいいのかと思う

○尾野田庁舎移転担当官 その方向ではしていきたいと思います。今回示しているのは、たたき

台ということで、これから基本設計をつくっていく上で、やはり各部署どういったものが要るのか、どういった配置がいいのかという話は聞いていかなければいけないと思います。その中に、若い職員も入れて、そういう話を進めていけたらと、そういうふうには考えています。

○山本（恒）委員 そりゃあ、早くしないと、ある程度ここで部屋をちょっと会議室が少ないから、それなら1階へふやす、1個ふやしたというのではなく、早くしなければ、この書類をどこかの設計屋に渡すのであれば、それまでにある程度のものを聞いて把握しておかないといけない、そう思うけど。

○尾野田庁舎移転担当官 各部長からは、各部の中でまとめたものは、とりあえず今は聞いています。それをさらに具現化する上で、今度基本設計のときに再度もう一度聞きたいという考えではいます。

○田口委員 今定例会に基本設計から実施設計に至るまでの1億円少々の予算が出ているが、そのタイムスケジュールはできていないのか。基本設計をいつまでに、実施設計をいつまでに完成しておかないと、間に合わないというふうな。

○尾野田庁舎移転担当官 前回それを言われてお示しはして……。

○田原委員長 8月22日の委員会で出ています。

〔「ああ、済みません」と田口委員発言する〕

○尾野田庁舎移転担当官 今回予算が通りましたら、早速業者選定を行って1年ぐらいかけて基本設計と詳細設計、実施設計をしていきたいというふうに考えています。

○田原委員長 ちょっと関連で言わせてください。

○石原副委員長 委員長を交代します。

〔委員長交代〕

○田原委員長 6,000万円が分割できないということで、今回は本設計と基本設計と分けられました。そういう中で、この予定を見ると、業者を決定するのは12月で、1年かけて基本設計と実施設計をすると、こういうことですわ。さっきからずっと聞いていて、私が不思議でたまらないのは、担当官は優秀な職員だと思う。だけど、私の拙い経験だが、餅屋は餅屋でやはりプロがおるわけです。これはどなたがつくられた設計書か図面かわからないが、こういうものを作りたいということで、専門業者、要するに設計のコンペをする気はないですか。

○尾野田庁舎移転担当官 設計については、今、プロポーザルという方法で発注したいと考えています。コンペというのは、設計案を出していただいて設計案がいいか悪いかという選定ですが、プロポーザルというのは、設計業者を決める方法ですが、今考えているのは、プロポーザルで業者を決めて、設計についてはそこと詰めていきたいというふうに考えています。

○田原委員長 それよりこれはどなたがつくられたの。

○尾野田庁舎移転担当官 これはプロジェクトチームの中で練ってつくったものです。

○田原委員長 要するに、素人だ、はっきり言って。設計そのものについては、プロかもわから

いが、こういうものをつくることについては、やはり手なれていないと思う。それなりの、やはりコンサルというか、専門業者がいると思うが、そういうところにプロポーザルに出して、それでこの案はいかがですかということ、私たちにを見せてもらいたい、そういう気はあるか。

○尾野田庁舎移転担当官 基本設計が固れば、またこの委員会でお示ししたいと考えています。

○田原委員長 いや、あなたたちすぐ固まったら固まったらと言うが、こういう案が、今さっきから案、案と言っているだけでも、それはあなたたちの案であり、プロポーザルを決定するまでにこういう案が出ています、皆さんいかがですかという、そういう意見を聞かせてもらう場はないのか。

○尾野田庁舎移転担当官 プロポーザルの業者を決めるときにという話でいいでしょうか。

プロポーザルのときは、大まかな案は出てきますが、その中でその選定委員会をつくり、その選定委員が決めるという形にはなりますが。

○田原委員長 それはあなたたちのスケジュール、私たち議員はあなたたちが選定委員会で決めたものを、はい、賛成と手を挙げたらいいのか。

○尾野田庁舎移転担当官 その業者が決まれば、その業者と市としての希望を言いまして、設計が決まっていくと思いますが、その過程でこの委員会で報告をさせていただくという考えです。

○田原委員長 ちょっと私の聞いていることと、何社かとプロポーザルで決めますね。何社から案が出てくるわけでしょう。その案を我々に見せてもらえるようなステップがありますかということ。今のような意見を、議員としたら、私は勉強してないが、熱心な議員はあっちやこっちの先進地の市役所を見てきたり、政務活動費を使って一生懸命勉強している人たちもいるわけよ、にせの領収書をつくったりではなく、本気で。そういう人たちの意見を聞いてくれる場がありますかということを行っている。

○尾野田庁舎移転担当官 プロポーザルの途中でその案がどうこうということは、ちょっとできないと思います。業者が決まって、その業者から出てきた案とうちとの案をすり合わせしていく中で、設計は決まっていくと思いますので、その中で委員会にお示しして、皆さんの意見を聞いて、その意見を入れるということは、可能だと思います。

○田原委員長 その何社かプロポーザルで案が出てくるわけでしょう。その業者から出てきた案を、その中から選定委員会で決めてしまうわけだ。何社か出てくる各業者の案を決めるのを私たちにも参加させてもらえますかと言っている。意見が言える場がありますかということ。

それどなん。私、これこだわるんですわ。私は、あくまでも議員として言っているが、恐らくこれは一般市民から何十年も使う市庁舎だから、私たちの意見も聞かせえという意見があるよ。それも無視するわけ。ガス抜きぐらいはしないといけないよ。それすらしないつもりかな。そんなにあなたたちは偉いのか。

○佐藤総合政策部長 今、担当官が御説明しているのは、これから基本設計、実施設計を行っていく設計業者を決める段階においてプロポーザル方式を採用して、その業者を決めるということ

です。決まった業者と市、こちら側とは協議しながら設計案をつくっていくということでありますので、業者が何社か手を挙げられて出してきた案をこの議会のこの委員会にお示しすることは、これはないだろうと思います。決まった業者と設計案を詰めていく中で、その中で何案か出てきたものをこの委員会にお示しすると、あるいは市民の方からの御意見を頂戴するということは、それはできるだろうというふうに思っています。

○田原委員長 いや、私はそれではいけないと言っている。一つの業者を決める前に、各業者からいろいろなユニークなものが出てくると思う。スタイルもそうだし、今こういうようなたたき台をつくっているものをもとにして、いろいろなユニークなものが出てくると思う。多少は、コンペ料が要るかもしれないが。やはり少なくとも私は日生町で12年間やってきたが、議会の皆さんに相談していたよ。こういう案が業者から出てきているが、どこの業者と今後やっていきましようかというのは、私はしていたし、そうしても構わないという感覚を持っているが。

○佐藤総合政策部長 コンペ方式ではなく、プロポーザル方式を採用しようかというのは、コンペ方式になると、先ほど田原委員もおっしゃられたように、コンペ料が必要になってくるということ、時間がその分余分にかかります。選定する時間をとってしまいますと、スケジュール、先ほどお話があったように、そのスケジュールをもう食っていつってしまうので、実際に設計にかかる時間がなくなってしまいます。そういうことで、プロジェクトチームでプロポーザルのほうが時間の面と費用の面と、そういうことでそちらのほうがいいだろうというふうに考えたということです。

○田原委員長 100歩譲って、プロポーザルでもいいが、プロポーザルの段階で言ってくれたら急がしくても集まるよ、議員は。何でそれができないの。この委員会の意味がないが。

○佐藤総合政策部長 業者を決めるために出てきた案が何点か、何社かはあると思います。でも、その業者を決める段階でどの業者がいいですかというのをこちらの委員会に諮るということは、それはないと思います。

○田原委員長 業者を決めようと言っているのではない。業者からこんな案が出てきているよということで、言わせてもろうてもいいでしょう、決めるのは、わしら執行権がないわけだから、しょせんは言うて、決定はあなたたちがするわけだけど……。

〔「公表したらまずいのか」と呼ぶ者あり〕

そういうことじゃ。

〔「業者名隠しときゃあええ」と呼ぶ者あり〕

アルファのときも出たがな。

○佐藤総合政策部長 その提案が、出てきた案というのは、それぞれの業者の案ですので、お示ししてこの案がいいと言われたら、その業者がそこでこの業者になってしまうということになりはしないかと、私は思います。

○田原委員長 いやあ、執行部が最終的に決めるのわけでしょう。だから、そういうことをする

から、その業者とひっついていてのではないかというようなことになるわけだから、みんなに見せて、ああこれはいいなあという評論をしてもいいのではないか。私は、そう思うよ。それで私らにも見せない、業者が決まったらこういう案だといって、その業者と協議して、それなら私らそれ賛成、それから今度は市民の代表の人たちも、こういう案が出ました、意見ありませんかと、この間の9月11日と一緒に。あなたたちのスケジュールでガス抜きするだけでしょう。やはりせっかくなので、一人でも多くの人の意見を聞いてやればいいのかということの中で、ぜひ考えてもらいたい。

○佐藤総合政策部長 今考えているのは、プロポーザル方式ですから、これも同じことの繰り返しになるが、業者を決めて、その業者と協議をしていく中で、何案か出てきたものをこの委員会にお示ししてどうでしょうかということは、できると思いますが、そのプロポーザルの段階で提案された各業者の案というのは、こちらにはちょっとお示しすることはできないのかというふうに考えます。

○田原委員長 それは、違うと思う。見せてもらって当然と思う。それは見解の相違と言われればそれまでだけど。やはりみんなにこういうものをつくりたいといって、見ていろいろ言えればいいのではないか。業者名さえ隠したら別に構わないのではないか。

○石原副委員長 済みません。委員長としてですが、今委員からこういう意見が出ています。少しでも委員の意見もというところの思いからでしょうが、また総務産業委員会でも調査、設計費用についての審査にもなろうかと思うので、一旦意見ちょっと持ち帰っていただいて、また何らかの回答なり、方向性を示していただければと思いますが。

○佐藤総合政策部長 委員の御意見ということで、お伺いして、それは今後検討してみたいと思います。

○田原委員長 これを見ると、設計業者が12月に決まる、市長の任期は4月までよ。次、この市長になるかわからないわけだ。だから、やはり広く意見を聞いてしないと、手戻りのことにならないようにしてもらわないと、そういうことも含めて、やはり本設計に入る前、本設計と基本設計とは、やはり分けた形でのタイムスケジュールで考えてもらいたいという要望をして、終わります。

○石原副委員長 交代します。

[委員長交代]

○田原委員長 交代しました。

○田口委員 関連して、8月22日に、先ほどの質問のタイムスケジュールが出ていて、今見せていただいたが、来年の1月から12月で、基本設計と実施設計と一本につながっているわけですね。それなら、基本設計はいつまでで、それから後、いつからが実施設計に入るというのはないですか。

○尾野田庁舎移転担当官 今の時点でそこまで細かい、基本設計が例えば3月末とか4月末とか

というのは、まだちょっとはっきりわからないので、今回はそういう表現の仕方にさせていただいています。

○田口委員 いや、基本的にはそういうふうに分けてするべきだと、私は思う。

それと、その下に仮庁舎設計期間2カ月、仮庁舎整備工事、工期約3カ月とあるわけだが、これはどこのことか。

○尾野田庁舎移転担当官 仮庁舎というのは、今現庁舎を残して、裏の分庁舎とかの改修が必要であればそちらをやはり改修する必要がありますので、その辺の工事ということで挙げさせていただいています。

○掛谷委員 1つ提案ですが、ワンストップの中で、ほかの自治体の中にはハローワークなんかが入っているということがある。備前市ではないが、それには交渉が要りますということでも…

〔「安定所がねえところ……」と呼ぶ者あり〕

いや、まあまあまあ、そういうところがあるので、ワンストップでできればいいと、一応の案を言うだけで、要望です。

○川崎委員 今回予算が基本と実施設計と一緒に出るとというのは、一業者にもう選定すればスムーズに基本設計から実施設計に移るという、時間的短縮できるということですが、やはりプロポーザルで私は決めていただいた業者で結構ですが、基本設計については、我々この特別委員会も論議しますが、広くやはり市民に、特に地元の方々には、駐車場の広さの問題とか、使いやすさとかという点では、やはり基本設計段階には相当時間をかける必要があると。一旦決まれば、もう実施設計は我々にはできないわけだから、基本設計、このとおり実施設計の図面つくってくださいというだけで、実務的なもう時間でいいわけだから。

そういうことを考えると、やはり来年市長選挙があるし、基本設計までは、やはり今の市長含めて我々議会も市民も含めて、やると。しかし、これが決まらない限り、実施設計には移らないということで、やはり市長選挙の結果が出るぐらいが一つのめどで、それまでに実施設計に入らないというぐらいで、やっていただく方向というのを、要望というか常識的に、今の市長がするかどうかわからないので、やはり市長の権限もこういうものになったら必ずしも独裁的に権限を行使する必要はないわけで、我々市民、職員、そこが本当に使いやすい庁舎にしてほしいということだから、基本設計に徹底的にいろんな案を出して、広く宣伝し、広く意見をまとめていただければ、プロポーザルかなんかの何社かの、何かわけのわからない基本構想というか、今出てきているような基本構想しか出てこないわけだから、私は基本設計という段階まで、詰めていただいた案を、最低でも3つ、余裕があるなら5案ぐらい出していただいて、しっかり論議することが我々この特別委員会、議会としてもつくった意義が出てくると思います。ぜひそういうタイムスケジュール、まとめて基本も実施も一本と言え、いろんな意味で、いろんな解釈ができますので、明確にスケジュールを分けていただくと同時に、引越し期限も、どこに移るというのも

より明確に、早期にそれを出していただけたら、お互い納得して議論が前へ進むと思うので、よろしく願います。答弁は、結構です。要望で。

○橋本委員 私は、今回の分で、基本設計はまず認められると思う。そうなると、プロポーザルに、こういう新庁舎をつくってくださいという希望というか、指示が出るはずで、執行部から。その際に、ぜひとも床面積の部分は、私は譲れない部分があります。現行で7, 412平米、もうだっ広い、上下水道課とか、保健センターとか、分庁舎とか、余裕のスペースがいっぱいあるわけです。それらを全部足しても7, 412平米、それを7, 280平米といえば、余りにも広過ぎる。絶対ここは、委員長、もっとコンパクトにしてもらうように、ほかの皆さんの意見が、いやもう7, 280でいいよというのであれば、しょうがないですが。私は、もっとコンパクトにすべきと思うが、いかがでしょうか。

○田原委員長 せっかくの機会ですから、ぜひ皆さん意見をどうぞ。

○尾川委員 会議室とこちに会議室とか何かスペースとれとれ言ようるがな。それと現状を一遍比較表を、だっ広い、だっ広いと言っているが、相談室をつくったり、会議室をふやしたりしているわけでしょう、それを説得力がある数字を出してくれればいい。そうすれば広いか広くないかというのが出よう。

〔「会議室の面積が要らあな」と呼ぶ者あり〕

スペースつくれと言っておいて、片方では減せと、そんな矛盾の話はない。

○森本委員 さっきの広さですが、やはり子育ての部分を下へ持ってきてくださったのはありがたいが、ベビーカーで真っすぐとか、そういうところ、何でも入り口のところを行ったら、やはりすごく広いスペースを子供の担当課なんかはつくられていました。椅子もたくさん置かれていた。子供と保護者が一緒に待つスペースをとられていまして、授乳室もとられていました。やはりそういう子育て支援に力を入れるなら、そういうスペースも私はとる必要があると思います。これは要望です。

○石原副委員長 面積の議論になっているが、これはあくまでたたき台ということで、基本設計が決まってから本格化するわけでしょうが、4月26日でしたか、市民に意見聴取会の中で、市民の福祉ですか、かかわっている方だったと思うが、意見で社協のスペースについての質問等あって、その時点でのアルファ本庁舎移転案では、希望があれば社協も入れるスペース確保できますというような執行部側の説明もあったが、今回のこの新庁舎には、可能であれば社協は入れることはできるのか。

○尾野田庁舎移転担当官 アルファの場合は、空きスペースとかがありましたので、そこを埋めるのに社協とかはどんなですかという案を出させていただいたもので、この庁舎については、そこまではちょっと考えていません。

○川崎委員 いや、考えてないのではなく、これは合併特例債の対象にならないわけでしょう。

○尾野田庁舎移転担当官 合併特例債の対象にはならないと思います。

○立川委員 2点、1点は済みません、コンセプトを見させてもらったが、5番目、人や環境に優しいとあるが、これはユニバーサルデザインというかデザインだけのことか。

○尾野田庁舎移転担当官 ユニバーサルデザインは、やはり車椅子とか身障者がすうっと行けるような建物をつくるということで考えています。

○立川委員 それをお願いしたかった。身障者、バリアフリーですね、それとトイレ、僕らこれでき上がったころ多分車椅子で行かないといけないかもわからないので、障害者とそれからバリアフリー、それとさっきちょっと出たみたいに、赤ちゃんですけど、けさあそこおむつのおむつがえ器を貸し出していました、社会福祉は、イベントがあったら。そういったスペースも絶対入れてほしいという希望。

それと、きょうちょっと言ったが、行財政改革といって、小さな市役所をうたっているの、その辺もコンセプトに入れてほしいという気はします。どうでしょうか。身障者、健常者のバリアフリー、これ絶対お願いしたい。

○尾野田庁舎移転担当官 身障者ですとか、小さなお子さん、その辺のことも十分考えていきたいと、同じく御老人の方も、その辺の配慮もしていきたいとは思っています。

○掛谷委員 高さ制限、グラウンド、いわゆる高潮、それから雨水、そういう例の高くしてやるという件と、逆に上の6階か7階、8階という、この制限があると思うが、その2点、どういう形になっているのか。

○尾野田庁舎移転担当官 この市役所がつかったというのは、私が市役所へ入ってから1回あります。そのとき腰のあたりまでつかったような感じです。だから、それはやはり確保しなくてはならないかなと、その辺を考慮しながら1階の高さを決めていきたいと考えています。

この新しい庁舎の高さ制限、これはちょっと今考えるに、6階ぐらいが限度かなというふうには思っています。

○掛谷委員 思っているというのが、何かの規制とか、ここは埋立地になるわけだが、こういうものを含めて何の弊害があるのか。

○尾野田庁舎移転担当官 高さについては、基準建築法があるので、それによると、大体6階ぐらいが限界かなというふうには考えています。

○守井委員 ちょっとまとめて、何点か提案がてらになるろうかと思うが、やはりデザイン性を持ったものをつくっていただきたいと思えます。そしてまた、基本理念がそのデザイン性の中に配慮されるような建物にぜひ1つには考えていただきたい。

そして、新しい時代での建物だから、100年ぐらいはしっかり持つ、市民に愛される建物という考え方でやはり考えていただきたい。

そして、ICT化が今発展しているので、最新の時代のオフィスにふさわしいやはり事務所というか、建物にしてもらいたい。

そして、他の施設の関係からいけば、やはり売店とか市民のサービスができる、あるいはキャ

ッシュカード、このあたりもやはり、先ほど食堂の話も出たが、新しい時代に向けてそういうものもやはり考慮していかなければいけないと思うので、その点はどうか考えていただきたい。

そして、先ほど森本委員から出たが、動線、人の動きの流れというものをどう考えているのかというものを考えていただき、そういう事務事業に取り組んでいただきたい。ちょっと見たが、恐らく文書の保管庫みたいなあたりがまだ考えられていないということがあったり、デザイン性もあわせて立面図、側面図というあたりもまたできてくると思うので、そのあたりもまた論議していただき、もう一つあわせて、色の問題、建物をどうするか、そして温かみのあるやはり木材を使ったゆったりとした建物をつくっていただきたいと思います。

○橋本委員 以前GLを、プラス1.8と言っていた。それをもうそんなにも要らないということで、今何メートル、GL、かさ上げする予定か。

○尾野田庁舎移転担当官 以前は1.8メートルという話をしたと思うが、ちょっとそれは高過ぎるのかなと、私の……。

○橋本委員 だから、今は幾ら。

○尾野田庁舎移転担当官 1メートルぐらいにはできたらと思いますが、これはちょっと設計の段階で考えていきたいと思います。

○川崎委員 基本設計の段階でもいいでしょうが、県庁に行くと、トマト銀行、中銀、郵便局、たしか3店舗入っていたと思います。備前でいえば、中銀と備前信用、郵便局が入れるかどうか知りませんが、2店舗の銀行ぐらいは、1階のどこか税務課のお隣にぐらいに設けるような、今でも中銀があるから、そういうスペースがこれにはないようなので、そういうことを言うとますますスペースが縮まらないかもわかりませんが、実感として農協の日生支店が木生に移りまして、便利が悪いと思っていれば、総合支所内に農協の現金支払い機ができましたので、非常に便利になっています。どこまで公共施設内にそういう民間の利便性というか、金融機関、特にどこまで入れるのか、よくわかりませんが、県庁に入れているのだから備前市役所も入れないことはないということで要望しておきます。ぜひよろしくをお願いします。

○石原副委員長 お願いというか、要望ですが、それこそ市民センターでの議会報告会でも、こちら近くの市民の方でしょうが、ここを新庁舎の候補として、僕もいろんな思いがあるが、一応の委員会としての意思表示が7月になされたわけだから、そこはしっかり尊重していかないという思いでいるし、そういう中で新庁舎の場所、候補地としてここに決まりつつというか、あるわけだけど、水害時のことであつたり、庁舎自体は大丈夫であっても、周辺の道はどうだろうかという不安も結構おっしゃっていたので、ここにもう決まって、ここでいくならいくで、さっきの山本委員の意見にも相通ずるかもしれないが、議会議員側にもですが、市民の方へもここをしっかりと将来の備前市の拠点として進めていくんだということをしっかりと執行部の皆さんも責任を持って御自分の口で面と向かって説明をして、各地区を回るぐらいの気持ちを持っていただ

かないと、結局苦勞してお金をかけてつくり上げても、末代まで延々と文句ばかりを言われる施設にも成りかねませんので、しっかりこれからのしばらくの対応を心してよろしく願いすることを要望として申し上げておきます。

○掛谷委員 私からは、今の石原委員のほうで、ちょっと思い出したが、この周辺の、これが決定を、設計がここで決まったらもうほぼ決定みたいになるが、周辺の住人の人がどうなっているのか、決まったのかなあという声を聞きました。ですから、この周辺の方々にやはり説明会というのは、工程表の中にはたしかなかった、ありましたか。だから、この地域住民の、企業のほうはそうでもないかもわからないが、お住まいの方々は、そういう声があったので、今石原委員が、全市民もそうですが、特にここに住んでおられるところは、早く住民の説明会というものをやらないといけないのではないかと、反対はないとは思いますが、知らなかったとか、そんなことを何で言わないのかということがあるので、ちょっと今思い出したので、お願いします、大事なことなので。要望というか、ぜひ。

○尾野田庁舎移転担当官 その辺も考えていきたいと思えます。

○田原委員長 ほかになければ、この辺で終わりたいと思えますが。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次もよろしく、お願いして、委員会を閉会します。

午後3時37分 閉会